

民藝運動と和紙

講演会

和紙は日本の暮らしのなかで育まれてきました。日々の暮らしで使う器や道具に美を見出し、価値を高めていこうとした「民藝運動」の創始者である柳宗悦は和紙をどのように評価していたのでしょうか。この講座では、柳と和紙の出会いや、和紙を通して「美しい日本の姿」を再発見した柳の活動について紹介します。また、新作民藝運動の実践例として、今も多くの人に親しまれている染色家・芹沢銈介の型染カレンダーについても触れます。



やなぎ むねよし
柳 宗悦
(1951年 日本民藝館にて)

柳宗悦

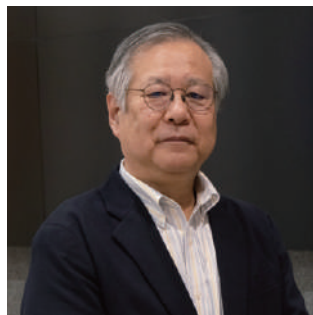
芹沢銈介



2024年

12月14日(土)【事前申込制】

13:30 - 15:00



【講師】**杉山 享司** (すぎやまたかし)

日本民藝館常務理事(元学芸部長)。多摩美術大学、東京造形大学、法政大学、武蔵野美術大学非常勤講師。専門は近代工芸史(柳宗悦と民藝運動を中心に)、博物館学。最近の著書に『柳宗悦と京都』(共著、光村推古書院、2018年)、『もっと知りたい 柳宗悦と民藝運動』(監修・著、東京美術、2021年)。

参加費：無料

定員：20名(申込多数の場合は抽選、1組4名まで応募可)

会場：中原市民館 第1会議室

主催：川崎市市民ミュージアム

申込期間：11月18日(月) 10:00 ~ 12月3日(火) 16:00

川崎市市民ミュージアムのイベントページ
申込フォームからお申し込みください。

<https://www.kawasaki-museum.jp/event/31029/>



※申込期間終了後に抽選を行い、締切日3日後までに当選者のみにメールでご連絡します。

※当館からのメール(@kawasaki-museum.com)が受信できるよう事前にドメイン設定をお願いいたします。

会場

中原市民館 第1会議室

〒211-0004

神奈川県川崎市中原区
新丸子東3丁目1100番地12
パークシティ武蔵小杉
ミッドスカイトワー2階



- JR南武線「武蔵小杉駅」下車
北口改札(南武線口)・東口より徒歩3分
- JR横須賀線「武蔵小杉駅」下車
新南改札(横須賀線口)より徒歩4分
- 東急東横線・目黒線「武蔵小杉駅」下車
正面口改札より徒歩3分、南口改札より徒歩4分